



縁の下の力持ち

校長 小澤 秋仁

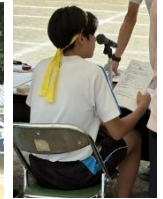
「縁の下の力持ち(えんのしたのちからもち)」

人目につかない場所で苦労や努力をして、組織や他人を陰から支えるような人の事を指します。

大阪の四天王寺で行われた「椽(えん)の下の舞」という舞楽に由来するという説があります。この舞は、舞台上ではなく、人目につかない場所で非公開に演じられました。そこから、「人が見ていないところで苦労する」という意味が生まれたと。また、日本の伝統的家屋において、家の床下部分が“縁の下”ですが、普段は人の目に触れることがない場所です。家全体を安定に支える土台があり、不可欠な部分です。転じて、目立たなくとも重要な役割を果たす人、脇役でありながら圧倒的に支える人という意味で使われるようになったともいいます。

先日、盛況に運動会を終えることができました。実行委員を中心に『威風堂々』をスローガンとして、それを果たすべく、動きも、声も“圧倒的”な運動会にすると生徒も教員も円陣を組みました。当日、まずは選手宣誓。実行委員から選ばれた代表3名が腹式で発声し、気持ちのこもった声を轟かせたのです。その声を号砲として、実行委員とともに、様々な“縁の下の力持ち”が活躍したのです。それは準備期間から既に始まっていました。全員が参加する大縄。

回し手が朝に集まり、練習を繰り返しました。美術部はスローガンの記載された横断幕に魂の炎を載せました。得点係は掲示板を新しく作成。放送は競技の様態を実況で伝え、救護、用具・審判、出発、招集、計時、石拾い、会場設営…ダン



スリーダーは新たなダンスを創作。今年は、閉会式の校歌を吹奏楽部の伴奏で歌いました。

ゴールテープ係の二人に「背中では何を語っているの?」と質問すると、「職務の全うです。」と答えが返ってきました。一人一人の責任感が“圧倒的”を産み出します。

係生徒だけではなく、赤団 A 組・青団 B 組・黄団 C 組の縦割り3色対抗戦は、学年の枠を越えて声援に熱が入ります。声援が選手たちのプレーを更に引き出していきます。今年の1年生は5クラス編成。E 組は赤団に、D 組は黄団と変則的に団を結成。いわば偶然のご縁です。その偶然のご縁が順を重ねるごとに深まっていきました。学年の枠を越えた団ごとの声援はより一層運動会を圧倒的にしていきます。新種目、斜方投射リレーでは、バランスボールをブルーシートに乗せて15m先まで運び、そこにある5mの高さのゴムひもを越えさせて再びブルーシートでキャッチするという競技。黄団が苦戦を強いられる中、なかなか越えないグループに黄団以外からも声援が。ボールがやっとひもを越えると、赤団から青団から拍手と歓声が上がりました。チームの枠を越えて、応援する姿も“縁の下の力持ち”

もはや、“縁の下の力持ち”達は、それぞれの舞台上で“縁の下の力持ちという”主役を演じていたのです。選手も係生徒も応援席も、清瀬中が一つの団になった瞬間です。

偶然のご縁で、清瀬中に入学。偶然のご縁で赤団・青団・黄団に。3つに分かれた生徒が力を発揮し、また清瀬中として一つの団となりご縁を紡ぐ。『ご縁の下の力持ち(ごえんのもとのちからもち)』が清中を創っています。



6月4日(木)の全校集会では、運動会の個人種目記録更新などが表彰されました。



CS委員会・学校支援本部より ミスト設置

学校支援本部より、運動会と猛暑に向けて、ミストを設置していただきました。ほてった身体に一時の冷を届けます。運動会を陰で支えてくれました。



高校の先生の話聞く会を6月5日(金)、6月10日(水)に実施しました。

都立高校3校、私立高校3校の先生方から三年生へ熱いメッセージをいただきました。



今後の予定

6月17日(水)期末考査 (数・技家・音)
6月18日(木)期末考査 (社・国・保体)
6月19日(金)期末考査 (理・英・美)
6月24日(水)午前授業、給食後下校
6月25日(木)生徒集会、耳鼻科検診
6月29日(月)2年生、職場体験に向け
マナー講習

7月1日~3日(水)~(金) 三年・修学旅行
二年・職場体験
7月10日(金)第1回進路説明会
7月14日(火)コミュニティスクール委員会
7月17日(金)終業式
7月21日(火)~31日(金)三者面談期間

お知らせ

体育館改修工事について

創立80年を迎え、体育館改修工事が始まります。

6月下旬から9月下旬の予定ですが、工期状況によっては、未定の部分があります。

部活動については、清瀬小学校、清瀬第八小学校、清瀬第十小学校、清明小学校の体育館を借用する予定です。

部活動の日程は、顧問より連絡いたします。よろしくお願ひいたします。